

南アルプス市立櫛形中学校 学校関係者評価書

記載責任者 : 櫛形中学校 学校関係者評価委員会事務局

学校関係者評価委員会

実施日 : 令和8年1月16日 (金) 午後1時35分～3時15分

会 場 : 南アルプス市立櫛形中学校 校長室

参加者 : 学校関係者評価委員

【学校評議員】 中込和彦 小林直樹 小松謙一 (欠席) 梅本澄雄 渡邊寿子 河野木綿子

【PTA関係】 高野隆一〔会長〕

【学校側】 笹本忠彦〔校長〕 飯野泰司〔教頭〕 内藤共哉〔教頭〕

学校関係者評価委員会 協議内容

(1) 自己評価書について

- ①教職員の自己評価, 生徒及び保護者のアンケートの結果について
- ②今後の方針(改善策)について

(2) 学校関係者評価委員からのご意見

<学校関係者評価委員の意見の集約>

I 学校教育目標・学校経営について

- ・教育目標の具現化に向け、全職員が一丸となってすすめられている。
- ・教職員の自己評価から肯定的な回答が多く、学校教育目標が学校全体で共有できていると感じた。特に、教職員間での「連携・共有・相談」などが行き届いている印象である。
- ・教職員の中には、教育活動の振り返りなどに時間をとれない方がいる。分担できる業務は、役割分担をし、引き続き業務改善にも努めていただきたい。

II 学習指導について

- ・授業の中で、子どもたちに自分の頭で考え、自分の言葉で表現することを、これからも要求してほしいと思う。たどたどしくも、「自分はこう考える」という主体的な意見をもたせたい。
- ・子どもたちがとらえたことを文章で表現させることもとりたてて行うことも大切である。
- ・ICTの活用方法を一層工夫して、生徒の主体的・能動的な活動を進めてほしい。
- ・授業の中で、子どもたちは、「教員の手抜き」を見逃さないと思う。教材研究や準備の不足など、教員側の事情で授業の進め方を変えると、子どもたちはストップをかけるはず。子どもに納得のいく授業は、物理的にも精神的にもエネルギーを費やす仕事だと思うが、アンケート結果から、先生方が子どもたちと意欲的に向き合っている様子が読み取れた。今後も先生方が一つになって、取り組んでほしい。
- ・タブレットを使った読書の方法も検討したらどうか。

Ⅲ 生徒指導について

- ・保護者や地域は、日頃から「子どもたちをどれだけ大切にしているか」という物差しで学校を見ている。物価高や経済格差で社会的弱者や差別されている人たちをどの地域でも抱えている矛盾の中で、子どもたちの笑顔のために、日夜実践している教職員の姿が、保護者アンケートから伝わってきた。
- ・生徒アンケートから、「学校が楽しい」という意見が多数で、ホッとしている。逆に1割の生徒は、心配なので、引き続きケアをお願いしたい。
- ・困ったときに相談できる友達や先生がいるということは、とても大切なことだと思う。この状況を維持できるよう取り組んでいただきたい。
- ・アンケート結果から、先生方が子どもたちと良好な関係を築きながら関わっている様子がうかがえた。多様性が重要視されているため、先生方の大変だと思うが、引き続き生徒とのコミュニケーションを大切にしながら指導に当たってほしい。先生方の情報交換もより大切にしてほしい。
- ・「早寝早起き」と「携帯電話・スマートフォンのルール」が関係するのかわ。また「読書」のポイントが低いがその原因もスマートフォンなのかわ。その要因についても検討しながら、引き続き指導に当たってほしい。

Ⅳ 保護者・地域との連携について

- ・学校現場では、地域とともに進む学校づくりが進められている。義務教育9年間の中で、小中一貫した教育方針のもとに、効率的で豊かな深い学びを求め、各学校も地域も意見を出し合い、協働していくことや、学校教育を通してよりよい社会を創るという理念で、学校づくりの目標やビジョンを学校内に閉じ込めず、地域の実態と信頼関係のもとに地域と一体となって子どもを育む学校づくりに果敢に取り組んでほしい。
- ・どの学年でも、学習課題の中に、地域人材、教材を生かした展開を考えてほしい。地域の変化、発展を事実即して学習し、生徒に地域愛を育てることも大切である。
- ・デジタル化による社会変革などに対応する保護者もついていくのが大変だと思う。保護者の生の声を拾い上げ、生かしていく活動をこれからも続けてほしい。
- ・生徒アンケートと保護者アンケートの回答に少し差があると感じた。特に、携帯電話やスマートフォンの所持やルールについて回答に差があるのは気になった。
- ・朝ごはんが大切なのはわかっていると思うが、なぜ「食べて登校していない」子どもたちがいるのか。「早寝早起き」との関連も含め、学校と家庭が連携し、指導していく必要がある。
- ・「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けているか」については、評価が低くなっているため、他校の状況なども参考にしながら取り組んでいくのもよい。

Ⅴ その他

- ・2026年より「道路交通法」が改正され、自転車の運転にも罰則が厳格化されている。事故が起らないよう、生徒には登下校時の運転の仕方についてしつこく指導をお願いしたい。

